

令和 4 年度在宅緩和ケア推進事業について

1 趣旨

在宅で療養するがん患者等が適切な緩和ケアを受けることができる体制整備の一環として、在宅緩和ケアに携わる地域包括支援センターの職員や介護・福祉関係者に対する研修を平成 30 年度から各圏域地域保健対策協議会により 3 か年計画で実施している。(令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したことにより、令和 3 年度まで実施)

令和 4 年度は、各圏域地域保健対策協議会及び関係者との協議を踏まえ、県内全域を対象とした「介護職のための在宅緩和ケアセミナー」の開催及び「がん在宅緩和ケアに関する実態調査」を実施する。

2 事業内容

(1) 介護職のための在宅緩和ケアセミナーの開催

ア 実施方法

オンライン研修 (Zoom)

イ 対象者

介護職員、介護支援専門員、地域包括支援センター職員、在宅医療・介護連携に従事する者等

ウ 内容

日時 (案)	講義名 (案)	予定講師 (案)	ねらい
5/20 (金) 18 時～	「ACP について」 (仮)	鳥取市立病院 地域医療総合支援センター長 足立 誠司 氏	・ ACP の概論について理解する。 ・ がん患者の入院～在宅療養～看取りまでの一連の流れにおける ACP の実践方法について学ぶ。
6/17 (金) 18 時～	「看取り期の身体変化とケアについて」 (仮)	Chiyomi Kubota Care 研究所 (一社) エンドオブライフ・ケア協会 久保田 千代美 氏	・ がん患者の看取り期の身体変化の概要と、それに応じたケアの方法及び患者本人、家族への関わり方について学ぶ。
7/15 (金) 18 時～	「医療と介護の連携の実際について」 (仮)	芸北ホリスティックセンター 北広島町雄鹿原診療所所長 東條 環樹 氏	・ がん患者の在宅緩和ケアにおける医療と介護のそれぞれの役割について理解する。 ・ 多職種連携の実際について学ぶ。

(2) がん在宅緩和ケアに関する実態調査の実施

がん在宅医療の現況、がん在宅緩和ケアの実施状況及び連携状況等について、地域共生社会推進課実施調査(「在宅医療」の医療連携体制の構築に係る医療機能等の調査)において、「がん患者に対する在宅緩和ケアの対応が可能」と回答した医療機関へ調査を実施し、調査結果を公表する。